



県議会 2015-18 J-PRESS

新政あいち県議団

鈴木 純 名古屋市中区三の丸 1-2
代表電話 052-961-2111 FAX052-961-3766

県議会2015-18プレスは新政あいち県議団に交付されている政務活動費を一部充当して作成・配布しています。県政のご意見・要望をお寄せください。



愛知県政の4年間を振り返って③

愛知県議会議員
(稲沢市選出)

すずき 純



●たんぽぽまつりでヘルプマークのPR



●命のビザ杉原千畝顕彰施設OPEN



●スペシャルオリンピックスのリレーに参加
ボウリング会場で有森裕子大会会長と

愛知県議会議員Ⅲ期目となります。2015年から2018年では、愛・地球博から10年の節目に全国都市緑化フェアや稲沢市で初めての愛知県植樹祭の開催、芸術アートの1年としたトリエンナーレや国民文化祭の開催、航空産業と産業観光の拠点となる航空ミュージアムや杉原千畝顕彰施設のオープンなど関係の皆様のご理解ご協力により地域活性化等に向け様々なイベント等を実施しました。

ものづくりの愛知としては、工業製品出荷額が40年連続日本一、都道府県版GDPが大阪を抜き全国第2位、MRJの初飛行の成功、ロボカップ大会の開催、自動運転のレベル4の実証実験など着実に進展しています。これからの課題に対しては、**2015年の一般質問で第4次産業革命**（本県と同様に製造業への依存度が高いドイツから始まったIoT産業革命）について、**2017年の幹事長としての代表質問では人生100年時代**をキーワードに、生産性向上を含めた働き方改革、中小企業などの人手不足、女性の活躍促進、シニア人材の活用及びボランティアの方に大きなお力添えを頂いている子どもの貧困問題などについて、**2018年の一般質問では国際化への対応**についてなど県の取組を質しました。多少の認識のずれはあるものの、時代が大きく動いていることは確かであり未来を見通して計画を立案しています。次のステップは段違いの**スピードとボリューム**で実行することが重要です。

県議会へ送っていただき3度目の4年間が過ぎようとしています。今期目標としていた公契約条例や障害者差別解消推進条例は議員提案ではありませんが成立しました。新しい産業労働ビジョン、平和の企業団地2期、国府宮交番の開所など着実に前進したものもありますが、議員定数の見直し、合併時の新市建設計画にある祖父江稲沢線は道半ばです。2019年度は、全国植樹祭、国際展示場、ラグビーワールドカップ、全国技能五輪・アビリンピック、伊勢湾台風60年などキーワードが並びます。反省を踏まえ、健康長寿社会を目指して、あいちビジョン2020を実現し、持続可能な安心・安全な愛知、稲沢を実現することを地元から選出いただく県会議員の使命として、地域の政策集団である新政あいちの仲間と共に一生懸命働いてまいります。

今回のJ-PRESSは抜粋ですがⅢ期4年の活動をまとめました。ご覧いただければ幸いです。今後も市議の時代から続けている毎月の街宣活動で情報発信するとともに、地域の皆様が子ども達もお年寄りも働く仲間も、明るく元気に希望を持って暮らせる**未来へつづくまちづくり**に取組んでまいりますので、より一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



アジア競技大会のブルゾンで県政報告街宣

2015.4～ [平成27年度]

■県議会等[横井議長 杉浦副議長]
文教委員会
文化・スポーツ・観光振興対策特
別委員会(副委員長)

■民主党県議団等[塚本団長 安藤幹事長]
総務会
文教部会

■県政等の主な動き[一般会計当初予算2兆4,817億円]
愛知県植樹祭in稲沢
戦後70年ぶりに選挙権年齢引下
全国都市緑化フェアin愛知
稲沢市議会議員選挙(定数26)
祝!MRJ初飛行
マイナンバー制度スタート
障害者差別解消推進条例制定
公契約条例制定



愛知県議会6月定例会

最初に、愛知県は37年連続(現40年連続)工業製品出荷額が日本一と群を抜く産業立県ですが、その重要な指針となる**新たな産業労働計画について**取組を質しました。新たな事象として、**第4次産業革命(IoT産業革命)**については、製造業への依存度が高いドイツ、ITの巨人といわれるアメリカ、新興国のインドなどがしのぎを削っていますが、日本をリードするモノづくりの愛知県としてIoTに対する取組について、顕在化してきた労働力不足についてなど新計画の方向性について伺いました。

小山産労部長:ロボット産業を内需型新産業育成プロジェクトの一つとして位置付け製造・物流等分野でのロボット導入を一層進めるためのWGを設置等。
間所労政局長:愛知人材強化プロジェクトとして施策の充実・拡大を図っているが今後は産学行政の連携会議を設けるとともに多様な人材が活躍でき本県の産業力向上につながるよう新計画に位置付け推進。

大村秀章知事:リニア、MRJ、FCV、と日本の未来をつくるプロジェクトが動き出しており、これを成功させ愛知の力を更に高めることで次代を担う若者・女性の魅力ある雇用の場をつくることが重要と考え新計画に取り組む等。

●ものづくりの愛知から次世代産業へ



●**FCVの移動式水素ステーション稲沢**がオープン、土地所有者として豊田合成の宮崎代表取締役社長ほか多くの方が出席されました。【愛知県では水素ステーションを2025年度末までに100基程度を目標に整備を進めています。自動運転はレベル4+5Gへ】



●航続距離約3,300km、最高速度約900km/h、開発費約2,000億円超(92席タイプ約56億円)の国産初のジェット旅客機**MRJ**、11月11日県営名古屋空港から初飛行!【愛知県の次世代産業の中核を担う航空宇宙産業、2017年**あいち航空ミュージアム**開館】



●県庁講堂でノーベル物理学賞を受賞された赤崎先生、天野先生の名誉県民顕彰式が行われ、豊田合成さんの平和工場などLEDのお話しさせて頂きました。【ノーベル賞受賞者顕彰施設を名古屋市科学館サイエンスホールに名古屋市と共同で整備中】

このほか、**こどもの笑顔が集まるプロジェクト②**について選挙権年齢18歳の所感と政治・行政の現場、県庁見学(県庁へ行こう!)及び、金田正一元プロ野球選手も旧平和町での空襲体験を語られた戦後70年の節目に開館する資料館へ寄せる思いと次代を担う子ども達への戦争体験の引継について伺いました。

世界の選挙年齢
米18才 英18才 独18才 仏18才 露18才ロシア

また、**高齢者の交通安全対策について**愛知県の64歳以下の免許人口は既に減少、65歳以上は大幅に増加、いわば**高齢ドライバー社会**が到来している中、高齢運転者に起因する事故の特徴と認知症も含めた対策などについて伺いました。

第1次産業革命は
英国の蒸気機関、第2次は米国の電気エネルギー、第3次はJAPAN AS NO.1コンピューターによる自動化、そして第4次産業革命はIoT(Internet of Things)、考える工場です。

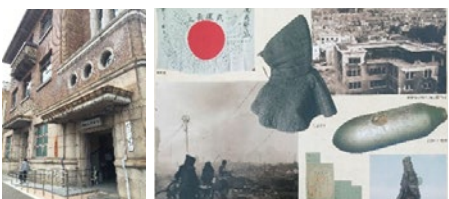
中日新聞6月24日県内版より

県議会六月定例会の一般質問が二十三日あり、県は戦争の体験を次世代に継承するため、元兵士や空襲の被害に遭った人たちの証言を映像化する事業を始めることを明らかにした。民主党の鈴木純議員(稲沢市)の質問に、川島穀県民生活部長が答弁した。

(杉藤貴浩)

事業は、県内の小中学校で戦争の体験を話す「語り部」の活動を撮影してDVDにする。戦争と平和の資料館(ピースあいち)

(名古屋市長東区)に委託して二〇一五年度中に、戦闘経験のある元兵士や学徒動員経験者、空襲や原爆の被害者ら十人を撮影する。映像は一人三千分程度で、証言だけでなく、当時の時代背景の説明なども入れる。



元兵士らの証言映像化 県庁の戦争資料館で公開へ

全国都市緑化あいちフェア&愛知県植樹祭in稲沢



稲沢市初めての植樹会場は文化の丘公園(稲沢市民病院北)

全国都市緑化あいちフェア～花と緑の夢あいち～にはサテライト会場(稲沢では稲沢公園のバラ園)と合わせて300万人を超えるご来場を頂きました。また、フェアの自治体コンテストでは稲沢市の秋彩が銅賞、高校生コンテストでは稲沢高校の心安らぐ和風の庭が奨励賞を受賞しました。

稲沢市で初めて開催された愛知県植樹祭は、緑化に対する意識の高揚を図り、みどり豊かで快適な環境づくりを推進するため昭和23年度から開催して今回は67回目となりました。開催テーマは『未来まで大きく育て木とわたし』(標語最優秀賞国分小の富田愛葉さんの作品)です。緑化功労者として石田公園愛好会の皆さんや林野庁長官賞を受賞した塚本忠男氏など関係の皆様が表彰されました。

【2019年は40年ぶりに第70回全国植樹祭を開催です】

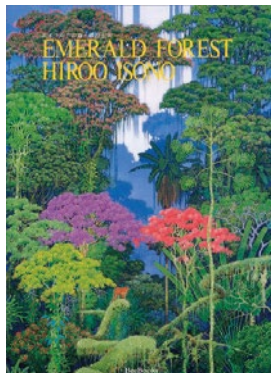
世界スカウトジャンボリー

44年ぶりに日本(山口市きらら浜)で開催された「第23回世界スカウトジャンボリー」は、世界150以上の国と地域から約34,000名以上のスカウトと指導者が参加、本県からは全国最多の約1,000名が参加しました。今回愛知連盟のゲストとして会場入り、尾張西地区協議会のスカウト達は英会話に苦戦しながらも積極的に交流するなど活動を見学し意見交換させて頂きました。多目的ドームを有する山口きらら博記念公園(80ha)や道の駅など広大な会場。本県には日本ジャンボリー(世界J)の1/2～2/3の規模を開催する適地がないようですが隣県との共催も視野に、子どもの笑顔、青少年の健全育成のために前向きに考えます。



トピックス

●**磯野宏夫展～命(いのち)・緑の輝き～**
稲沢市石橋で活動され、2013年に急逝した磯野宏夫画伯(1945～2013)の展覧会が荻須記念美術館で開催され、ライフワークとした光や自然のエネルギーで満ち溢れる「生命の森」の作品とポスターやゲームソフト等の仕事で手掛けた作品を含め60点ほどが展示され、その魅力が紹介されました。



●**連合愛知尾張南地協国会研修会**
尾張南地協の国会研修会に参加、派遣の期間制限等を緩和する労働者派遣法改悪案の討論の現場を傍聴、法案は自公などの賛成多数で衆議院を通過しました。写真は退席した民主党議員らの空席(中央)が目立つ中、労働者派遣法改正案を賛成多数で可決した衆院本会議です。(毎日新聞)



●**日本一銀杏の郷の記念碑**
きれいに整備された祖父江の名鉄尾西線森上駅前ロータリーに、稲沢市の特産品として名高い、祖父江のぎんなんの記念碑がお目見えしました。まちなには樹齢100年を超えるイチヨウの大木が多く存在し、晩秋にはまち全体が黄金色に染まりイチヨウ黄葉まつりも開催され観光スポットです。



2016.4～ [平成28年度]

■県議会等[鈴木(孝)議長 森下副議長] 総務県民委員会 人づくり・福祉対策特別委員会(理事)

■民進党県議団等[富田団長 かじ山幹事長] 総務会 総務県民部会(部長)



■県政の主な動き[一般会計当初予算2兆5,249億円]

熊本地震発災
稲沢市防火危険物安全協会創立50周年
ダイコー食品廃棄物事件発覚
第24回参議院議員選挙

あいちトリエンナーレ2016ほか
大野市長急逝稲沢市長選挙
愛知県障害者福祉大会in稲沢
国府宮はだか祭大里西奉賛会大鏡餅奉納



大野紀明市長急逝



10月20日に急逝された故大野紀明市長の市葬が11月14日に葬儀委員長真野副市長（市長職務代理者）、副委員長出口議長並びに久納商工会議所会頭のもと、厳粛な中、盛大に挙行されました。昭和20年生まれ、市長三期の半ばでの早すぎる死を悼み多くの参列者の皆様と共にその人柄、功績に感謝いたしました。長年の行政経験を活かし、健全財政を堅持しつつ、稲沢市民病院の建設、平和工業団地の開発、稲沢夢逢橋の完成など様々な事業を実現され「安心・安全・元気な稲沢」を目指されたその崇高な志は跡に続く私たちがしっかりと受け継ぎ稲沢市の発展に全力を尽くすことをお誓いいたしました。

子どもの貧困等大阪・京都議員派遣調査

同僚の中村（豊田市）、浅井（豊橋市）、永井（刈谷市）の各県議と2泊3日で大阪市、大阪府（水素社会・宿泊税・公私連携・大阪都構想・空港のコンセッション）、京都府（農地集積・投票事務ボランティア）を調査しました。

大阪市では、こども・子育て支援計画の中に子どもの貧困対策計画を位置付け、2月に市長を本部長としたこどもの貧困対策推進本部を設置。府に協力する形で市独自の項目なども盛り込み、市立の小5、中2の児童生徒・保護者の全数各18,000人及び市独自で市内幼稚園・保育所等の5歳児の保護者を対象（24の各行政区の特性を反映した政策を検討、大阪市では5歳児の教育費無償化を実施）とし、市広報などにも趣旨を記載し周知を図っていました。

【県は子どもが輝く未来へのロードマップを策定しました】



熊本地震の対応について（熊本県知事公室危機管理防災課）

県議団総務県民部会長を務める部会調査で熊本県を訪問しました（本来は福岡県の特区の取組等と2日間の調査でしたが故大野市長市葬参列のため日帰りの熊本往復となりました）。本年4月14日の前震、16日の本震とも最大震度7、一連の地震で震度6弱以上の地震が7回発生と、ともに観測史上初となった熊本地震では、東日本大震災の教訓を生かしたプッシュ型物資輸送の取組や、避難所でのエコノミー症候群による死亡事例など新たな課題も浮かび上がりました。全権委任で陣頭指揮をとられた有浦危機管理防災企画官から、役割分担、自衛隊方式、転出者復帰制度、クロノジー（時系列記録）のメリットや、行政事務訓練、セット・バック・リュック方式、避難所位置と運営など課題についても具体的な教訓を伺いました。

【県は防災計画、避難所運営マニュアルの見直しを行いました】



北米(フロリダ州・テキサス州)海外調査の概要



調査団は民進党（現新政あいち）県議団から3名、自民8名、公明1名の合計12名で構成、10月30日の早朝にセントレアを飛び立ち一成田国際空港―テキサス州ヒューストンを経由して現地入りしました。

●フロリダ州マイアミ

サンシャイン・ステートといわれるフロリダ半島の州、マイアミは人口40万人、都市圏人口は500万人を超え州内最大、在マイアミ日本総領事館ではマイアミが中南米の首都といわれる経済情勢やスイングステートと呼ばれるフロリダの大統領選挙などを伺いました。また、世界のクルーズ首都といわれるマイアミの港湾局では開発や拡張は港湾局とクルーズ会社が採算ベースで実施している点や、寄港地としての本県との違い、政府関係者と友好な関係によるCIQの手続等を、ロイヤル・カリビアン・インターナショナルでは、現在人気の大型船のカジュアルクルーズ（低料金、7日間）よりも3～4日もしくは長期間のラグジュアリクルーズが中心との指摘もあり名港トリトン等の制約のある愛知県の判断が迫られるところです。



●テキサス州ヒューストン

テキサス州の愛称はLone Star State（ひとつ星の州）、最大都市ヒューストンで在ヒューストン日本総領事館及びジェットロ・ヒューストン事務所にて、法人税ゼロで目覚ましい発展をしているテキサス州の経済最新事情を伺い、ジョージRブラウン・コンベンションセンターでは展示場に加え3000人収容の劇場・ホテル・公園などを整備し公費補助なしでの運営を調査しました。

●テキサス州の州都オースティン

テキサス州議会を表敬訪問するなど友好関係を深めたほか、自動走行の実証実験、スポーツコミッションなどについて調査しました。テキサスA&M（農工）大学ではシェアードサービスにより20年後には駐車場不要の送迎についても研究していますが、道路への光ケーブルの敷設が課題との事でした。多岐にわたる調査を終え日付変更線を越えて11月6日の夜に帰国しました。

カナダ・ケベック州&ブリティッシュ・コロンビア州海外調査



県議団有志10名により初めてカナダを訪れました。リージョナルジェットで先行するボンバルディアの本拠地であるカナダ第2の都市モントリオールでは航空宇宙産業分野について、先進サブナショナル政府の州都ケベック・シティでは生物多様性条約締約国会議（COP）13に向け愛知目標など生物多様性等の分野について、また世界一住みやすい街といわれた州都バンクーバー（現在はメルボルン（オーストラリア）、ウィーン（オーストリア）に次いで3位）では州の経済状況や市のグリーンエコノミー戦略についてなど調査しました。



●ダイコー食品廃棄物問題

県は廃棄物処理法に基づく改善命令を出し排出事業者にも回収指導を行いました。最終的には食品廃棄物5千t弱、全体の約半分が残存見込みで周辺への影響を懸念し、知事が苦渋の決断（予備費4千万円投入）とした廃棄物の撤去が県の職員も悪臭にまみれながら関係団体等の協力により始まりました。作業を妨げないように6月17日現地調査しましたが腐敗した悪臭が…。条例の一部改正など対策を強化しました。

●木曽三川連合総合水防演習

木曽三川連合総合水防演習・広域連携防災訓練がサリオパーク祖父江で実施、主催は中部地整、愛知・岐阜・三重の三県、稲沢市、尾張水害予防組合。総裁に国交大臣ほか、総指揮者に小沢稲沢市消防団長、副指揮者に角田同副団長があたり、祖父江小学校区自主防災会の皆さんや祖父江小・長岡小の子ども達にも参加頂きました



●尾張西部生態系ネットワーク協議会
あいち生物多様性戦略2020で掲げた尾張西部生態系ネットワーク協議会が県内では最後に、祖父江のホタルを守る会、木曽川祖父江野鳥の森を守る会、豊田合成、宮田用水、ユニー、稲沢市などの参加を得て設立され、ビオトープ・ネットワーク中部長谷川会長、県立佐屋高校生物学科3年生、豊田合成阪口室長が取組を発表されました。



2017.4～ [平成29年度]	■県議会等[中野議長 峰野副議長] 総務県民委員会(理事) 中京大都市圏形成調査特別委員会 議会運営委員会(理事) 議員定数等調査特別委員会(理事)	■民進党/新政あいち県議団等 [中村(す)団長 幹事長鈴木じゅん] 総務県民部会 新政あいちWG事務局長	■県政の主な動き[一般会計当初予算2兆5,209億円] 国府宮交番開所 祝!藤井棋士29連勝 ロボカップ2017世界大会 稲沢北小学校創立40周年	第48回衆議院議員選挙 あいち航空ミュージアム開館 稲沢市ステージアッププラン策定 新政あいち(県議団)設立	
------------------------------------	---	---	--	---	--

幹事長として代表質問 17.09.26



に発表しています。子育て・介護・治療をしながら働くことができる社会へ大きく舵を切る時と思います。そこで、少子高齢社会、人口減少社会の対応に加え、幸せな健康長寿社会へ向けて、モデル無き時代といわれるなか課題と政策の方向性について伺いました。

【知事答弁】長寿社会を持続可能なものとしていくために、健康寿命の延伸や学び直しのためのリカレント教育等により長い人生を通して必要なスキルを高めながらキャリアアップできるような機会を確保し、生涯現役の社会を目指す。

【基幹産業である自動車産業への支援について】

世界で急速に進む電気自動車（EV）へのシフトで自動車大国ドイツ国内の雇用60万人に影響と報道されましたが、本年7月に設立した「あいち自動運転推進コンソーシアム」ではデファクトスタンダード（事実上の標準）が重要であり県の支援が必要なのと同時に、電気自動車や、それに伴う急速な産業構造の変化や雇用への影響に対しても県として果たすべき役割があると考えます。昭和40年当時の本県の製造品出荷額の第一位は繊維産業で全体の24.4%、平成26年では自動車産業が全体の51.2%、22兆4,587億円を占めるまでに発展しています。愛知の今を、そして未来へ向かう自動車産業への取組みを伺いました。

【知事答弁】次世代自動車により産業構造が大きく変化し雇用環境にも影響を及ぼしうと認識しており、あいち自動車産業イノベーションプランに基づいて技術開発や工場立地等への支援、人材育成、関連インフラの整備など推進。

そのほか、子ども食堂など子どもの貧困対策、熊本地震で被害のあった新耐震基準の木造住宅の問題、愛知県地震防災推進条例が制定から13年経過している防災・減災対策の今後の取組、**あいち航空ミュージアム**が開館するなか航空機産業への取組、中小企業のプロフェッショナル人材等の確保、技能五輪国際大会誘致への支援強化、アジア競技大会に向けたスポーツの振興、生活道路の交通安全対策について県の取組を質しました。

民進党/新政あいち県議団幹事長に就任



中村団長以下民進党県議団五役知事表敬訪問

トヨタ労組出身の大物同期/中村すすむ団長のもと、女房役の幹事長を拝命しました。任期途中の10月の衆議院選挙では党の分裂、混迷から、地域の政策集団として新政あいちの設立にWG事務局長として奔走、県議団は割れることなく新たな仲間を加え新政あいち県議団は34名に、また、新政あいちでは総務会長代行として活動することになりました。



平成23年6月定例会で総務会長として代表質問をしてから2度目となる民進党（現新政あいち）愛知県議員団の代表質問に幹事長として登壇させていただきました。質問及び知事答弁等の概要（抜粋）は以下の通りです。

【ライフシフト、長寿社会への対応について】

連合愛知地域政策推進フォーラムで紹介された「ライフシフト 100年時代の人生戦略」は、2007年生まれの子どもの半数が107歳に到達するという衝撃的な話でした。日本老年学会なども65歳以上の方は10～20年前と比べ5～10歳ほど若返っているとし、高齢者の定義を75歳以上とする提言を1月に



子どもたちの未来とこれからの長寿社会に向けて



議員定数等調査特別委員会

2019年4月の統一地方選挙（県議選）に向けて6月議会で議員定数等調査特別委員会が設置され、鈴木も幹事長という立場から委員に選出されました。

県外調査では、茨城県議会の出前委員会や高校生の議会傍聴など議会改革に向けての積極的な取組や、議員定数・選挙区の在り方について議会改革推進会議の中で外部の意見も取り入れ、定数の増減や合区により10通りの逆転現象の解消、1票の格差2.90倍→1.93倍の是正等を伺いました。また、全国都道府県議長会のヒアリングでは、平成27年に施行された法改正の意義や大阪府議会が東京都に合わせ議員一人当たり人口を10万人とし一挙に21人削減した事例等を伺いました。残念ながら委員会の結論としては現状維持となりましたが、少なくとも豊川の定数減による逆転現象の解消を図ることや、豊田、岡崎などの定数を増やす必要がなくなる総議員定数97などを示したことは2020年の国税調査後の定数見直しに繋がるものと思います。

ベトナム日本法教育研究センター設立10周年&愛知県・江蘇省友好書道展出席

4月の訪越に続き、名古屋大学のベトナム（ハノイ）センターが10周年を迎え日越議員連盟から小島副会長（鈴木は幹事）とハノイへ。式典にはレ・ティン・ロン司法大臣はじめ、松尾名古屋大学総長、鮎京県立大学理事長ほか多くの皆様が出席。ホームステイで最初にお預かりしたフェンさんのスピーチも聞くことができました。有意義な1泊3日の強行軍でした。

日中友好議員連盟では鄧偉中国総領事と大村知事より書道展出席の要請を受けて昭和55年に友好提携協定を結んでいる江蘇省（人口約7千600万人、面積約10万2千km²（愛知県は人口約750万人、面積約5千km²）、省都南京）を表敬訪問しました。本県からの進出企業は154社221拠点です。県内市町村と中国各都市との友好連携は稲沢市と内モンゴル自治区赤峰市、名古屋市と江蘇省南京市など9市です。

トピックス

●国府宮交番開所

築49年経過した国府宮交番の建替えが完了し新・国府宮交番の開所式が警察関係、地域の代表者が見守る中で行われました。勤務する警察官から宣誓があり、使命感を持った皆さんの奮闘により地域の安全が守られ、地域に愛される交番となることを確信、稲沢警察署管内7交番5駐在所の体制です。



●ロボカップ 2017 世界大会

人工知能（AI）で動くロボットがサッカーなどを繰り広げる大会が第1回以来20年ぶりに愛知で開催され、42の国・地域から2,500人が参加し競技が行われました。愛知県はロボット製造業の製造品出荷額等、事業所数、従業員数とも全国1位です。また、世界青少年発明工夫展2017も同時開催されました。



●市政功労者特別表彰

11月1日に稲沢市制記念式典が開催され、市政功労者表彰の市議10年の方や公益功労表彰の皆様とともに、鈴木は市議7年・県議10年で市政功労者特別表彰を頂き代表して謝辞を述べさせて頂きました。また、全国都道府県議長会から自治功労表彰（県議在職10年）も頂くことが出来ました。



●愛知県議会の状況

最大格差2.27倍
(弥富市43,269人：江南市98,359人)
逆転現象1通り
(人口182,436人の豊川市が定数3：人口184,140人の安城市は定数2)
条例定数が多い選挙区
瑞穂区、昭和区、豊川市
条例定数が少ない選挙区
豊田市、岡崎市など、安城市
【議員一人当たりの人口が多いのは、①東京都約10万、②大阪府約10万、③神奈川県約8万6千、④埼玉県約7万7千と続き 愛知県は約7万3千人に一人で5番目】

2018.4～ [平成30年度]

■県議会等[松川議長 鈴木(喜)副議長]
産業労働委員会(理事)
決算特別委員会(委員長)

名古屋港管理組合議会
■新政あいち県議団等
[高橋団長 谷口幹事長]
政策調査会 産業労働部会
■県政等の主な動き
[一般会計当初予算2兆4,939億円]
ジブリパーク構想基本デザイン発表
ヘルプマーク導入

愛知県消防操法大会in稲沢
第20回アジア競技大会開催都市契約締結
スペシャルオリンピックス2018in愛知
杉原千畝顕彰施設オープン
稲沢市制60周年



愛知県議会6月定例会一般質問



昨年9月の民進党県議団幹事長としての代表質問に続き、今年度は新政あいち県議団議員として一般質問に登壇させて頂きました。国際化への対応、注目される健康経営、犯罪被害者支援と再犯防止について理事者側の取組を質しました。以下は抜粋です。



社協の募集で西日本豪雨災害ボランティアへ(岡山県真備町)

●国際化への対応について

あいち国際戦略プラン2022が3月に策定されたが、日本の2016年TOEFLの平均スコアはアジア31か国中27位となど厳しい状況にある。東京都は小中校生20万人対象の英語村を開設の報道もある中、子ども達や来年度新中期計画がスタートする愛知県立大学(外国語学部)の取組等を伺う。

【県民文化部長】県立大学は留学、留学生の受入、地域貢献などに取組むと共に、国際化を更にステップアップするため学部の名称変更を含めた組織の在り方など検討。

●健康経営について

社員の健康に対する取組を人的資本への投資と考え業績拡大の重要な戦略とする健康経営に対して国の健康経営優良法人2018では中小規模法人部門の1割以上が本県企業で認定数は全国1位、本県の取組を伺う。

【保健医療局長】健康経営の宣言事業所は2千を超えており、愛知県健康経営促進検討会議での議論も踏まえ健康経営に積極的に取組む企業に対する優遇措置を検討。

●犯罪被害者支援と再犯防止について

中日新聞6月22日県内版より

犯罪被害者等支援を充実させることはもとより、再犯率が年々上昇しているなか犯罪等をした者の円滑な社会復帰を促進する再犯防止対策は、安全で安心して暮らせる社会を実現する上で重要でありことから県の取組を伺う。

県議会 一般質問
再犯防止へモデル事業
県が受託 具体策を検討

県は、罪を犯した人の再犯を防ぎ、社会復帰に導くための「地域再犯防止推進モデル事業」を法務省から受託した。鈴木議員の質問に、鳥居保博県民文化部長が明らかにした。

モデル事業は二〇一六年に施行された再犯防止推進法を受け、法務省が地方自治体と共同で再犯防止策のあり方を検討するために公募。県と名古屋市の提案が十三日に採択された。

県は今月八日、厚生関係会、出所後の社会復帰まで機関や民間団体とともに県再犯防止連絡協議会を設置しており、同協議会を中心にモデル事業の具体的な方策を検討していく。大村秀章知事は「犯罪や非行をした人の円滑な社会復帰を促進する再犯防止対策は、県民が安全で安心して暮らせる社会を実現する上で大変重要」と述べた。

名古屋港管理組合議会



名古屋港は明治40年に開港し、4市1村(名古屋市、東海市、知多市、弥富市、飛鳥村)にわたる日本最大規模の広大な陸域約42km²と水域約82km²(稲沢市の面積は79.35km²)を有し、約1億96百万トンで総取扱貨物量16年連続日本一、約6兆87百億円で貿易黒字額も20年連続日本一です。

今年度予算は一般会計約270億円、議員は県議会15名、名古屋市議会15名の30名で構成されています。水族館のあるガーデンふ頭のイタリア村跡地の再開発、金城ふ頭の完成車と大型クルーズ船の機能分離が課題です。

